



2026年 8 月 7 日

各 位



Plat'Home

会 社 名 ふらっとホーム株式会社
 代表取締役社長 鈴木 友 康
 コード番号 6836 東証スタンダード
 問 合 せ 先 管理本部長 高德 修
 (TEL 03-5213-4376)

2027年 3 月期第 2 四半期（中間期）業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2026年 5 月15日に公表した2027年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2027年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想数値の修正(2026年 4 月 1 日～2026年 9 月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	770	5	0	0	0.00
今回修正予想（B）	800	36	34	32	6.74
増減額（B－A）	30	31	34	32	
増減率（％）	3.9	620.0	—	—	
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （2026年 3 月期第 2 四半期）	691	17	18	16	3.47

2. 修正の理由

当社は「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」をミッションとして事業を推進しております。現在の中核事業であるネットワーク事業が好調に推移したことに加えて、過年度より研究開発を進めておりましたWeb3事業の商業化がスタートしたため、当初見込みを上方修正いたします。

ネットワーク事業については、ネットワークアプライアンス「EasyBlocks（イージーブロックス）」の市場への浸透に加え、マイクロサーバーとIoTゲートウェイの既存案件への安定した供給に努めた結果、業績は好調に推移しております。

Web3事業については、2016年度よりブロックチェーン技術の基礎研究を行い、2020年からは慶応義塾大学（共同研究者村井純教授・鈴木茂哉特任教授、いずれも当時）と現実的なブロックチェーン技術の確立のための共同研究を行っております。また、本番に向けた実証プロジェクトを株式会社日立製作所、株式会社日立ソリューションズ東日本、スカパーJ SAT株式会社とともにこなしてきました。さらに当事業年度より、ロジガード株式会社と共同で取り組むサプライチェーンへのThingsTokenの商業化の取り組みが進展しております。

これにより、当第2四半期（中間期）の売上高は当初の予想を上回る見込みであり、また、利益率の高いサービス・開発案件が当初予想を上回って進展しており、第2四半期（中間期）の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益も、それぞれ2026年 5 月15日に発表した予想を上回る見込みとなりました。

一方、下半期においては、現下の半導体供給の逼迫とそれによる半導体価格の上昇により、主要顧客の需要動向に不透明な要素が存在すること、及びWeb3事業においても、現在加速して取り進めている各種事業開発・技術開発が新規の取組であるため、今後の案件獲得とその進展には不透明な要素があります。これらを踏まえて、通期連結業績予想は、2026年 5 月15日公表の予想を据え置いております。

今後、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

以上